



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 宮越ホールディングス株式会社  
 コード番号 6620 URL <http://www.miyakoshi-holdings.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 宮越 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 板倉 啓太

TEL 03-3298-7111

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	324	3.7	212	33.0	224	95.7	135	209.9
29年3月期第1四半期	313	10.7	159	27.7	114	17.7	43	31.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 10百万円 ( %) 29年3月期第1四半期 204百万円 ( 305.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	6.99	
29年3月期第1四半期	2.82	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	15,067	8,015	48.5	376.54
29年3月期	15,113	8,004	48.2	375.43

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 7,310百万円 29年3月期 7,288百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,290	4.4	790	9.2	930	26.8	540	43.4	19.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は、平成29年7月5日を払込期日とする第三者割当増資による新株式(10,600,000株)を含めた予定期中平均株式数により算定しております。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	19,414,943 株	29年3月期	19,414,943 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	398 株	29年3月期	398 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	19,414,545 株	29年3月期1Q	15,534,598 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(重要な後発事象)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループをとりまく世界経済は、米国の好調な経済に牽引されて緩やかな回復基調にあり、EUにおけるイギリスの離脱交渉・銀行の不良債権問題及び日米の政権支持率の低下等のリスクはあるものの、景気の先行きは比較的安定して推移していくものと思われま

す。一方で、当社グループの主要な事業拠点である中国深セン市は、国際都市として堅実な経済成長を続け、物価、不動産価格の上昇率は他の地域に比べ、いずれも高い伸び率を示し、一人当たりのGDPではすでに北京、上海を上回っております。

このような状況にあつて当社グループは、深セン市における不動産の賃貸管理及び開発事業において、所有不動産物件の効率的な活用とハイレベルな運用管理を行うことにより、稼働率の高い安定した収益基盤の強化を図り、業績の拡大を進めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は、324百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益212百万円（前年同期比33.0%増）、経常利益224百万円（前年同期比95.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益135百万円（前年同期比209.9%増）を計上いたしました。

#### 不動産開発事業について

当社の子会社である深セン皇冠（中国）電子有限公司（以下「皇冠電子」といいます。）が所在する深セン市は、人口1800万人を擁し、中央政府が進める次世代の現代サービス産業の高度化を担うべく、ハイテク・情報・金融等を基盤とした国際都市への転換を図り、香港・マカオを一体化した一大経済圏の中心に位置する中国華南地区の中心都市として発展を続けております。

このように発展を続ける深セン市の経済的環境下、皇冠電子が所有・管理する同市所在の不動産物件（土地127千㎡、建物114千㎡）の賃貸管理事業につきましては、営業収入及び利益率の高い安定的かつ堅調な業績を継続的に維持しており、当該事業は当社グループを牽引する事業へと成長しております。

また、皇冠電子が保有する上記不動産物件は、深セン市の中心部である福田区に位置し、官公庁街に近く、交通インフラ（主要幹線道路、地下鉄駅、高速道路IC、深圳市最大のバスターミナル等）等の都市機能が集中した付加価値の高いエリアにあります。

皇冠電子は、上記不動産について、上記のとおり発展を続ける深セン市福田区に所在する優位性を最大限に活用した、オフィス、商業・サービス、レジデンスなどで構成される総延床面積約700千㎡・建設費約1千億円規模の大型総合都市開発プロジェクトを推進しております。当該開発プロジェクトは、中国政府が進めている「イノベーションを基軸とした総合都市開発」をコンセプトとして、日本をはじめ海外の先進的開発や運営技術を導入した、深セン市経済発展のモデルとなる再開発を目指しております。当該開発事業は、中国政府、在日本大使館などの政府機関をはじめ、大手金融機関、大手商社、不動産開発事業会社など国内外多方面から支持・協賛を受けており、現在、深セン市政府関係部門と協議調整を図りながら、開発許可の申請に向けてプロジェクトの策定を進めている段階です。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ45百万円減少し、15,067百万円となりました。また、負債総額は、前連結会計年度に比べ55百万円減少し、7,052百万円となりました。これらの主要因は、為替の影響によるものであります。

純資産総額は、前連結会計年度に比べ10百万円増加し、8,015百万円となりました。この主要因は、四半期純利益の計上及び為替の影響によるものであります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,376	5,363
営業未収入金	104	113
短期貸付金	5,603	1,528
その他	298	283
貸倒引当金	△90	△95
流動資産合計	11,292	7,191
固定資産		
有形固定資産	15	13
無形固定資産		
のれん	315	305
土地使用権	1,169	1,122
その他	0	0
無形固定資産合計	1,484	1,428
投資その他の資産		
長期貸付金	2,058	6,134
その他	262	299
投資その他の資産合計	2,320	6,434
固定資産合計	3,821	7,876
資産合計	15,113	15,067
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	5,845	5,845
未払法人税等	61	62
引当金	2	0
その他	438	385
流動負債合計	6,347	6,293
固定負債		
退職給付に係る負債	6	6
その他	753	752
固定負債合計	760	759
負債合計	7,108	7,052
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,925	2,925
資本剰余金	2,670	2,670
利益剰余金	2,060	2,196
自己株式	△0	△0
株主資本合計	7,655	7,791
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△366	△481
その他の包括利益累計額合計	△366	△481
非支配株主持分	716	704
純資産合計	8,004	8,015
負債純資産合計	15,113	15,067

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業収益	313	324
営業原価	53	42
営業総利益	259	282
販売費及び一般管理費	99	69
営業利益	159	212
営業外収益		
受取利息	42	39
その他	0	0
営業外収益合計	42	39
営業外費用		
支払利息	5	13
為替差損	82	13
その他	-	1
営業外費用合計	88	27
経常利益	114	224
税金等調整前四半期純利益	114	224
法人税、住民税及び事業税	63	61
法人税等調整額	△10	7
法人税等合計	53	69
四半期純利益	61	154
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	43	135

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	61	154
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△265	△144
その他の包括利益合計	△265	△144
四半期包括利益	△204	10
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△167	21
非支配株主に係る四半期包括利益	△36	△11

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

第三者割当(デット・エクイティ・スワップ)による新株式発行

当社は、平成29年6月2日開催の取締役会において、以下のとおり、第三者割当(デット・エクイティ・スワップ)により新株式を発行することを決議いたしました。

なお、本件は、平成29年6月29日開催の当社第6回定時株主総会に付議し、本株主総会において承認可決され、平成29年7月5日に払込手続を完了しております。

## (1) 新株式発行の内容

① 払込期日	平成29年7月5日
② 発行新株式数	10,600,000株
③ 発行価額	発行価額 1株につき457円
	発行価額の総額 4,844,200,000円
	上記の金額は、全て現物出資(デット・エクイティ・スワップ)の払込方法によります。
④ 資本組入額	資本組入額 1株につき228円50銭
	資本組入額の総額 2,422,100,000円
⑤ 募集又は割当方法	第三者割当の方法によります。
⑥ 割当先及び株式数	a Century Paramount Investment Limited (センチュリー・パラマウント・インベストメント・リミテッド)
	: 5,300,000株
	b Long Wing Holdings Limited (ロンウィン・ホールディングス・リミテッド)
	: 5,300,000株
⑦ 現物出資財産の内容	a Century Paramount Investment Limitedが当社に対して有する貸付金元本債権総額2,688,755,143円のうち2,422,100,000円に相当する部分
	b Long Wing Holdings Limitedが当社に対して有する貸付金元本債権総額2,687,236,890円のうち2,422,100,000円に相当する部分

## (2) 本第三者割当増資による資本金の額及び発行済株式総数の推移

## ① 本第三者割当増資による資本金の額の推移

増資前の資本金の額	2,925,380,000円
増加する資本金の額	2,422,100,000円
増資後の資本金の額	5,347,480,000円

## ② 本第三者割当増資による発行済株式総数の推移

増資前の発行済株式総数	19,414,943株
増加する株式数	10,600,000株
増資後の発行済株式総数	30,014,943株